

肉用牛及び牛肉の流通の合理化目標の設定について

1 趣旨

国産牛肉を合理的な価格水準で安定的に供給していくためには、農家段階における肉用牛の生産コストのみならず、肉用牛及び牛肉の処理・流通コストを削減していくことが必要である。

このため、肉用牛及び牛肉の流通の合理化の目標として、家畜市場及び食肉処理施設に係わる取扱い量等に関する目標を明示し、処理・流通関係者の主体的な取り組みを基本として、行政等関係者が一致してその実現のために努力することとする。

2 設定項目（目標）

(1) 指標

ア 家畜市場の再編整備と機能の高度化を推進するため、家畜市場における取引頭数の目標について示す。

1 家畜市場当たりの取引頭数の目標

	現状（14年度）	目標（平成27年度）
年間取引頭数	平均3,076頭	頭以上
開場日1日当たりの取引頭数	平均156頭	頭以上

注：年間取引頭数が1万頭以上の基幹的市場を除く。

イ 牛肉の流通コストを低減し、合理的な価格水準での安定供給を図るため、食肉処理施設の処理能力及び稼働率の目標について示す。

1 日当たりの処理能力及び稼働率の目標

	現状（14年度）	目標（平成27年度）
1日当たりの処理能力	平均605頭	頭以上
稼働率	平均62%	%以上

注：肥育牛1頭を肥育豚4頭で換算

(2) 設定方法

肉用牛及び牛肉の流通の合理化目標は、現時点での状況、過去の実績から見た家畜市場及び食肉処理施設の再編整備の進展状況等を考慮の上、実現可能な家畜市場における取引頭数並びに食肉処理施設の処理能力及び稼働率の水準を示す。

3 活用方法

食肉処理施設の処理能力の向上等の具体的な目標の実現に向けて、処理・流通関係者の一層の合理化努力を促すとともに、行政等においてもその実現のために必要な施策等を実施する。